

4月17日：警戒感が高まる中でまちまちの展開

ホーチミン取引所のVN指数は何とかプラス圏で終えたが、ハノイ取引所のHNX指数は下落して終えた。警戒感が広がり、銘柄によってまちまちの展開となっている。

ホーチミン取引所のVN指数は0.09%高の1,053.81ポイントで取引を終えた。同指数は直近3営業日は下落していた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.3%安の206.63ポイントで取引を終えた。同指数も3日続落していた。

銘柄別ではまちまちの動きとなっており、338銘柄が下落したのに対して341銘柄が上昇した。

VN30指数の中では、14銘柄が上昇、12銘柄が下落、4銘柄は変わらずだった。

流動性は大きく悪化した。出来高は4.54億株、売買代金は8.1兆ドンだった。前日に比べて42.3%、39.6%減少した。

ハノイ取引所でも同様に出来高と売買代金は46%ほど減少した。

セクター内でもまちまちの動き。

銀行セクターでは、BIDV (BID)、テクコムバンク (TCB)、ベティンバンク (CTG) は上昇したが、軍隊商業銀行 (MBB)、VPバンク (VPB)、HDバンク (HDB) は下落。ビンググループ (VIC) は変わらず、ビンホームズ (VHM) は0.6%高もビンコムリテール (VRE) は1%以上の下落だった。

外国人投資家は買い越しに転じた。7営業日連続の売り越しの後だった。ホアファットグループ (HPG)、フーニュアンジュエリー (PNJ) が買いを集めた。

下落トレンドが強くなっており、指数は1,040ポイントを試しに行く可能性がある。短期的にはこのあたりが下値めどになるだろうとロンベト証券はコメントした。

同氏は投資家に需給を良く見極め、今後の動向を注視すべきだと伝えた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。